



日増しに春めいてまいりました、皆さまいかがお過ごしでしょうか。2019 年度が始まった折、様々な報告をいたします。

🎭 ラオス×日本 ろう者の参加する人形劇団ワークショップ

今回初めて、ラオスの現代人形劇団「カオニャオ」の人形劇遣いたちと、両国を交互に行き来して行う共同ワークショップが実現しました！

【劇団カオニャオ】

ラオスで初めての、政府公認の民間人形劇団。豊かな自然を生かしてラオスの精神世界を描く、独創的な作品が世界的に評価されている。

2016 年、劇団内に「カオニャオ・デフ」を創設。ろう者の参加による新しい表現の可能性を模索している。



<Part 1 in ラオス>

1 月 9 日から 17 日までの 9 日間、デフパペのメンバーがラオスに赴き、カオニャオ・デフとの共同ワークショップを行いました。日本から持参した人形と、ラオスの人形。まずは互いの人形を遣ってみるところから始まりました。



ワークショップの他に次のプログラムを行いました。
3, 4 日目、ラオスの特別支援学校と孤児の家を訪問。
5 日目、首都ビエンチャン付近の農村で公演。
6 日目、国立人形劇場を訪問、相互に交流しました。
7 日目、ろう者の働く「みんなのカフェ」を訪問。
最終日、ワークショップ成果発表会。

<Part 2 in 日本>

パート 2 は 2 月 15 日から 23 日まで。今回はカオニャオ・デフのメンバーが来日しました。ひとみ座スタジオでのワークショップの他次のプログラムを行いました。

- 1 日目、ミーティング。この日は雪。ラオスでは降らないようです。
- 2 日目、互いの作品を観劇。その後ワークショップ。
- 3 日目、ひとみ座代表中村孝男による棒遣い講座。
カオニャオメンバーの誕生日も祝いました。
- 4 日目、乙女文楽稽古見学、日本ろう者劇団を訪問。
- 5 日目、乙女文楽体験、ひとみ座「どろろ」稽古見学。
- 6 日目、横浜市立ろう特別支援学校訪問。
- 7 日目、翌日の発表会に向けて共同制作の仕上げ。
- 8 日目、発表会。共同制作作品を一般公開で上演。



今後も劇団カオニャオとは交流を続けていきます！！続報にご期待ください！！



TYA インクルーシブアーツフェスタ

2019年1月に行われたTYA インクルーシブ・アーツ・フェスティバル 2019 というイベントに、「はこ/BOXES じいちゃんのオルゴール♪」で参加しました！

該当イベントは「～様々な障がいと個性を持った全ての子ども達へ～」というテーマを掲げ、様々な劇団やアーティストが参加するイベントでした。

その中でデフ・パペットシアター・ひとみは、1月20日に国立オリンピック記念 青少年総合センターで公演をし、100人以上のお客様にご観劇して頂きました。

世界中から様々なアーティストが集まる今回のイベントで、多くの人に観劇して頂けたこと、大変嬉しく思います。足を運んでくださった皆様ありがとうございました！



役者についての報告

2016年5月から約3年間以上デフパペットで活動してきた鈴木香澄がこの度退団することになりました。

「森と夜と世界の果てへの旅」でデビューをした鈴木は、「稲むらの火」「はこ/BOXES じいちゃんのオルゴール♪」「河の童」でその表現力を活かし活躍しました。

みなさまこんにちは。
いつも応援して下さいありがとうございます。

私事で恐縮ではございますがこのたび新しい命を授かりました。

その為2019年4月いっぱいを持ちまして退団する事となりました。

私が初めてデフパペの事務所にやって来たあの日の事を今でも鮮明に覚えています。とても良く晴れた5月の事でした。

私は最寄り駅から徒歩で事務所へ向かっていました。が、ひたすら真っ直ぐ歩くもののいっこうにゴールが見えず何度も立ち止まっては地図を確認し、約束の時間も過ぎてしまい不安でいっぱいになりながらもようやく劇団に辿り着いた時、優しい笑顔で待っていてくれたのがデフの大先輩やなせさんでした。笑

あの日から約4年間。

デフパペメンバー6人でほとんど毎日行動を共にし、色々な場所へ行き各地の実行委員会さん達に支えられ、たくさんのお客様と出逢い、たくさん美味しいご飯と美味しいお酒に酔いしれ、心も身体も成長出来たと思っております。(笑)

人形劇を通して普通では出来ないたくさんを経験させてもらい、学び、数え切れない程の『感動する事』を教えてもらいました。

私はこのデフ・パペットシアター・ひとみが大好きです。

そんな場所を離れるのはとても寂しいですが今度はデフパペを応援し、全力で追いかけてみたいです！

最後になりますが応援して下さいましたみなさま。本当にどうもありがとうございました☆



4月からは鈴木香澄に代わり、新メンバーが入団いたします。新メンバーを迎えて新しくなったデフ・パペットシアター・ひとみを是非ご覧ください！

制作についての報告

2011年11月からデフパペットで企画制作を担当しておりました大里千尋がこの度退団をすることになりました。以下、大里から退団の挨拶です。

いつもデフ・パペットシアター・ひとみを応援してくださっている皆さま、私事で恐縮なのですが、3月31日をもちまして、デフ・パペットシアター・ひとみを退団することになりました。デフパペの制作として、2011年に入団し、右も左も分からない中、全国各地いろいろな方々と出会いました。本当に無我夢中でした。地域での活動を本当に精力的に頑張っている方がたくさんいることや、デフパペに入らなかったら気づきもしなかったことをたくさん教えていただきました。デフパペによって出会わせてもらった世界は生涯の宝物です。メンバーとも家族のように過ごしてきて7年と数か月本当に幸せでした。



今後ともデフ・パペットシアター・ひとみをどうぞよろしく願いいたします。またどこかできっとお会い出来ますように。

By 大里千尋

続いて入団の報告です。制作の新メンバー、池内 剛志が昨年12月からデフパペットと一緒に頑張ってくれています！以下、池内からの挨拶です。

こんにちは。昨年12月よりデフパペの制作に入りました、池内剛志です。以前は魚屋に勤めていました。魚屋から人形劇？どうして？とよく尋ねられます。

妙な話と思われるかもしれませんが、魚と人形には近いものを感じます。水族館の魚は何も話しません。でも大人気です。魚の質感や色彩に見惚れたり、魚の顔付きから性格を想像したりする人もいます。むしろ、テレビの動物番組よろしくアテレコなんかが入ってしまえば、魚をじっくりと観察する人は減ってしまうかもしれません。

デフパペは作品中で音声言語や手話を使うことについて、とても慎重に考えています。感情や思考に言葉という形を与えないまま提示するような表現には、何というか、ある種の生々しさが伴っていると感じます。コミュニケーションの在り方を問い直す、といった社会的な意義も見出すことはできますが、僕が何より素晴らしいと思うのは、想像力を凝らして（あるいは何も考えず）没入できる鑑賞体験そのものです。

僕は口下手なので、うまく伝わっているか不安ですが、なにとぞよろしく願います。 By 池内剛志

また、2017年12月から育児休暇を取っていた制作の吉村衣世が4月から復帰をすることになりました！以下、吉村からの挨拶です。

いつもデフニュースを読んでいただきありがとうございます。デフパペ制作の吉村です。一昨年12月から出産と育児のためお休み頂いてましたが、この4月より復帰します。また皆さまとお会いできる日を楽しみにしています。引き続き、どうぞよろしく願います！



By 吉村衣世

世の中では年度や元号が代わる中、デフ・パペットシアター・ひとみも変化をしております。この変化を良い変化にしていき、皆様に素晴らしい公演をお届けできるよう、一同努力していきたいと考えておりますので、今後とも変わらぬ応援を何卒よろしく願い申し上げます。

デフ・パペットシアター・ひとみメンバー

やなせけいこ 善岡修 榎本トオル

鈴木文 鈴木香澄 増子仁美

制作 吉村衣世 中西優樹 池内剛志

Twitter, Facebook もやっています！

Twitter DEAF_PUPPET

Facebook 「デフ・パペットシアター・ひとみ」

劇団HP : <http://deaf.puppet.or.jp/index.html>